

令和5年度 子ども大学さやま・いるま

1. 実施体制

子ども大学さやま・いるま	学長	井上 俊哉（東京家政大学・東京家政大学短期大学部学長）
	副学長	滝嶋 正司（狭山市教育委員会教育長） 中田 一平（入間市教育委員会教育長）
子ども大学さやま・いるま 実行委員会	実行委員長	久篠 奈苗（東京家政大学地域連携推進センター所長）
	実行委員 （関係団体）	東京家政大学/狭山市教育委員会/入間市教育委員会



2. 事業内容

開催回数	4回	開催期間	令和5年7月22日～令和5年9月2日			
参加者数	61名	内訳	小学4年生	28名		
			小学5年生	17名		
			小学6年生	16名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	7月22日（土）	
		14:45～16:25	
生き方学	会場	東京家政大学	
	講義名	お母さんになるって、どんな感じ？～妊婦体験やベビーマッサージなど、ママの気持ちになって子育てをプチ体験してみよう！～	
	講師	東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 教授 細井 香	
			愛をこめて・・・ベビーマッサージを教わりました
2 日目 午前	開催日時	8月19日（土）	
		10:00～11:40	
はてな学	会場	東京家政大学	
	講義名	なぜ、SDGsが必要なのか？ ～SDGsを知って、オリジナル羊毛石鹸・羊毛woodを作ろう！～	
	講師	東京家政大学 家政学部 造形表現学科 助教 岡本 恵	
			SDGsカラーの岡本先生から教わる羊毛wood作り

3. 実施内容

2日目 午後	開催日時	8月19日(土)	
		12:55~14:35	
生き方学	会場	東京家政大学	<p>孔子の衣装で手作り教材の講義</p>
	講義名	「論語」って何？ 皆で、声を出して、「論語」を学ぼう！ どうして、勉強をするの？ 友達と仲良くするには？ ……ヒントがあるはず、新しい発見をしてみよう！	
	講師	大東文化大学他、自治体・公民館等の論語講師、河合塾の漢文講師、放送大学非常勤講師 打越 竜也	
3日目	開催日時	9月2日(土)	
		14:00~15:40	
はてな学	会場	東京家政大学	<p>みんなに見守られながらのVR体験</p>
	講義名	脳はどうやって手を動かしているの？ ～人の不思議を体験してみよう！～	
	講師	東京家政大学 健康科学部 リハビリテーション学科 教授 鈴木 誠 准教授 磯 直樹	

4. 参加者の声

参加した子供の声 (感想)	<ul style="list-style-type: none">・初めて学食体験をしたことが楽しかったです。論語を初めて学べて（知って）よかったです。お母さん体験をしてお母さんの大変さを知りました。・違う学校の子と友達になれたし、幼稚園の時の友達にも会えたので、とっても楽しかったです。・脳の動きについて知ることができたり、論語ということについてや、SDGsを知り、大切にしないといけないと思いました。お母さんの大変さを知ることもでき、新しい友達もできてよかったです。・工作や体験が好きだから、両方あってうれしかったです。学食がとてもおいしかったです。もう一度、学食が食べたいです。3日間も大学に行けて、大学生になった気分になりました！ここでしか会えない友達と別れなければいけないのが、少し辛いです。とても早かったです。・参加して、いろいろな自分が知らなかったことをたくさん学べたので、よかったです。・初めて知ることなどが多く、とても楽しかったです。今後の生活に使っていきたいと思いました。・小学校では習わない勉強をして楽しかったし、友達もできたので良かったです。
保護者の声 (感想)	<p>・子ども大学初日、講義修了後に迎えに行くと息子からの第一声は「ママって、こんなに大変な事を毎日やっていたんだね！ありがとう。」でした。講義の内容を聞くと、赤ちゃんが思っていたよりも重かったこと、おむつ替えがすごく難しかったこと、父親よりも母親の育児負担が大きく、ストレスを抱えていることなどたくさんのことを学んだと教えてくれました。小学校では教えてもらえない、子を育てるとはどういうことなのか、とても深いところまで教えてもらった息子からの「ありがとう」はいつもよりも少しだけ重みを感じました。学食がすごく美味しかったと、嬉しそうに話していました。息子にとっても、貴重な経験になったと思います。ありがとうございました。</p> <p>小学生でこのような体験ができるのは、とても有難いです。話して伝えるより、体験に勝るものはないので、今後もこのような機会をよろしく願います。</p> <p>・大学がどのような所なのか全くわからなかったのが、今回参加させて頂き、大学に行きたい、その為に勉強頑張る!!という言葉が娘から出ました。自分の夢についても具体的に考えられるようになったようです。学食体験が本人にとっては1番楽しかったようで、きっと大きくなって忘れたいと思います。SDGsに興味を持ち、家庭でも生ごみコンポストを始めました。いいキッカケを与えてくださりありがとうございました。</p>